

本社工場が完成

研究棟設計・施工竹中工務店

製造棟は千代田化工建設

ペプチスター

ペプチスター（大阪府摂津市、亀山豊社長）は10日、塩野義製薬摂津工場（摂津市三島2の5の1）で建設を進めていた「ペプチスター本社工場」の完成式典を開いた。本社工場は本社研究棟と製造棟2棟で構成し、総延べ床面積は1万0500平方メートル。ペプチスター関係者や設計・施工関係者ら

が出席し、完成を祝った。神事で亀山社長や、ペプチドリム（川崎市）の窪田規一代表取締役会長（ペプチスター前社長）、澤田拓子塩野義製薬副社長、加藤敬太積水化学工業代表取締役専務執行役員、森山一正摂津市長、本社研究棟の設計・施工を担当した竹中工務店の竹中統一取締役名

誉会長、製造棟2棟の設計・施工を担当した千代田化工建設の山東理二社長が神前に玉串をささげた。セレモニーで窪田会長は「本社工場での取り組みは国家プロジェクトと言っている。施設が完成したが、これからが本番。ペプチスターの成功を祈念する」、亀山社長は「大変素晴らしい設備と建物が完成した。竹中工務店と千代田化工建設の努力のたまもの。4月に本社研究棟が立ち上がり研究が始まり、本日完成した製造棟でCDMO（医薬品受託製造開発機関）として

本社研究棟など外観



のビジネスをスタートできる。安定的に安定的に高品質なものを提供していく」とあいさつ。亀山社長は竹中名誉会長と山東社長に感謝状を手渡した。



関係者多数が出席した神事

ペプチスターは革新的技術で非天然型アミノ酸がある特殊ペプチドを製造する目的で設立した会社。本社工場は次世代の中分子医薬である特殊ペプチド原薬の製造施設として計画した。規模は本社研究棟がS造4階建て延べ2400平方メートル。今年6月に実験を開始した。製造棟1はS造4階建て延べ3100平方メートルで、製造棟2はS造5階建て延べ5000平方メートル。8月から試運転、10月から本格稼働する予定。年間製造量は約100キログラム以上。コンストラクション・マネジャーは明豊ファシリティアークス。建築工事は2018年6月27日に着工した。

